

『第3回芦刈まちづくり勉強会』報告書

令和5年4月15日(土)に開催した「第3回芦刈まちづくり勉強会」の内容をお知らせします。ご覧いただき、今後の芦刈まちづくり事業への参加をよろしくお願いします。

- 開催日時 令和5年4月15日(土) 10:00~12:00
- 開催場所 小城市芦刈地域交流センター「あしぱる」多目的ホール
- 講師 コーディネーター 九州大学大学院 客員教授 加留部貴行さん
- 参加者 参加人数 20名 (うち中学生6名) (町内 13名 町外 4名 市外 3名)

次 第

1. 開会
2. あいさつ(総務部長)
3. 加留部さん紹介～グループ内自己紹介
4. 対話①「芦刈の町をどうしたい？どうする芦刈!？」
現状・理由・解決策・グループ内一部移動／意見交換
5. 対話②「なぜ進まない？どうすれば良いか」
原因・理由・解決策・グループ内一部移動／意見交換
6. 勉強会で感じたこと・今後に必要なと思うことを A4 用紙に一言で記入 まとめて問題提議、次回へつなげる課題
7. これからのスケジュール・閉会



令和5年4月15日(土) 10:00~12:00、「芦刈町の5年後、10年後の未来について語り、考えていきましょう」と『第3回芦刈まちづくり勉強会』を開催しました。

当日は、芦刈観瀾校の中学生、住民の方、住民以外の方20名が参加されました。

勉強会は、総務部長あいさつから始まり、九州大学大学院の加留部さんの進行により、グループ(各4名)に分かれて、対話①「どうする芦刈!？」 対話②「どうしたら良いか」を皆さんで語り合いました。その後、別のグループ内でどんな話が行われたのか、移動しながら共有しました。最後は、A4 用紙に今後必要と思われることを一言で表す作業を行い、加留部さんにカテゴリごとに分類していただき、今後の課題として皆さんと共有し、まとめてもらいました。

勉強会は無事に進み、アンケートにご協力いただいたあと、今後のスケジュールをお伝えして閉会しました。



対話①

どうする芦刈！？

- ・活気がない
- ・自家用車がないと住みづらい
- ・コミュニケーションがない
- ・定住者に繋がってない
- ・子どもが遊べる場所がない
- ・世代に関係ない交流の場がない
- ・買い物難民
- ・諦め感があり、発信もない
- ・自然が豊か・癒しの景観がある
- ・災害が少ない
- ・仕事がないと成人した人が戻ってこない



対話②

どうしたら良いか？

- ・自分たちの力を合わせる
- ・実行する力がない
- ・行政と協力
- ・PR(ドローンなど)
- ・今ある施設にプラスワン
- ・組織づくり(リーダー的存在)
- ・住むメリット(給食費無料、乗り合いタクシー、通学バスなど)
- ・補助金を上手に活用
- ・世代が邪魔しない話合いが必要
(相談先が曖昧)
- ・問題意識をみんなで持ち、一つ一つ動いていく



今後芦刈に必要なもの

【組織づくり】

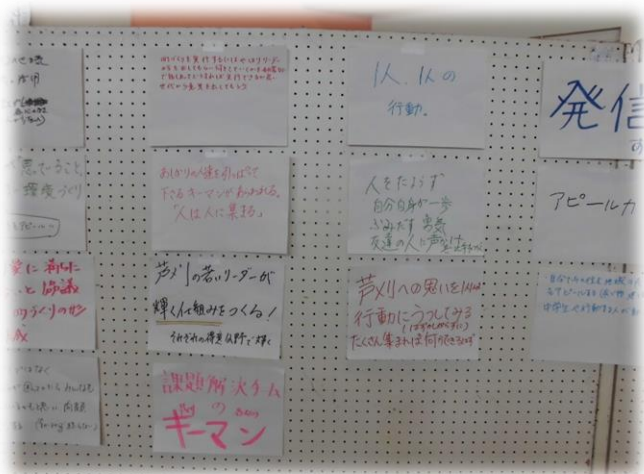
- ・プラットフォーム
- ・まちづくり協議会
- ・話しやすい環境づくり

【人】

- ・人は人に集まる
- ・リーダー的存在
- ・キーマン

【発信】

- ・発信
- ・アピール
- ・一人一人が勇気を持って行動



問合せ先 小城市企画政策課 地域づくり係【集落支援員】
TEL 0952-37-6115
携帯 080-2379-8647 (月・火・木・金)



この報告書は市のHPからもご覧になれます